

留学だより Vol. 4

こんにちは。アメリカ合衆国ミシガン州に留学している 16 期斧田です。今回はいつもよりも写真多めで、アメリカで感じる日本について、アメリカにも日本のこんなのあるよ、というものを紹介していきます。

1 文化

2 アメリカでも普通に買える日本の食品

3 日本人コミュニティ

の 3 本立てでお届けします。

1 文化

・アニメ・マンガ

アメリカに来る前から、日本のアニメやマンガが海外で大人気だということは知っていたのですが、まさかここまでだったとは、と驚きました。学校ではアニメをモチーフにした服を着ている人がたくさんいて日本語が書いてある服も見かけます。もはやアニメの存在を知らない人はいないと思います。ギフトショップに行くと、かなり広いアニメグッズコーナーがあります。最近、私はホストシスターと一緒に「進撃の巨人」を見ています。

・カラオケ

カラオケも大人気です。ただ、日本のものと知らなかった人もいました。Round 1 にももちろんカラオケコーナーがありましたよ！誰かのうちでパーティーするときには、毎回と言っていいほど、ほぼいつもカラオケをしているような気がします。

・お箸

日本食は大人気。私のホストファミリーは、日本食を食べるときにはやっぱりお箸を使いたいそうで、sushi や yakisoba を食べる際、必ずお箸を使っています。日本食のお店に行ってスプーンとフォークが出てきたら、「お箸ありますか？」って聞いたりする人もいました。まだまだ練習中だそうです、上手すぎて驚きました。

・Hibachi

これはもはや日本のものか？という感じなのですが Hibachi という日本風料理が大人気です。Hibachi 専門のお店がいくつかあり、私たちはホストブラザーの誕生日に訪れました。ちなみに Hibachi はヒバチではなくハバチと発音します。おそらく日本語の火鉢のことを言っていると思うのですが実態は鉄板焼きです。料理人が目の前で火を





つけたり煙をモクモクさせたりしながら海鮮を調理してくれます。途中、調理器具を投げることもあり、食事というよりもパフォーマンス要素が強そうです。メインの海鮮のほかにチャーハンや焼うどんも出てボリューム満点でした。日本食かどうかはさておき、とってもおいしかったです。

2 アメリカでも普通に買える日本の食品

・そこら辺にある普通のスーパー

実はわざわざアジアンマーケットに行かなくても、アメリカにある一般的なスーパー（Walmart や Meijer など）でたくさん日本の食品を入手することができます。一番よく見かける飲料が Calpico です。なぜカルピスじゃないのか気になり、調べてみたところ、Calpis を英語っぽく発音すると cow piss（牛のおしっこ）と聞こえてしまうからだそう。瓶のラムネもよく売られています。

アメリカ人の中でも定番なのがラーメンです。大会の出店でもカップヌードルが売られていることがあります。アメリカに来てからびっくりしたのは、アメリカ人にとっての ramen の定義がものすごく広いこと。「おやつに ramen 食べる？」と聞かれて出されたのが、汁なしの超甘くて超辛い照り焼き味の麺。こんなのラーメンじゃないよ、どこの国の料理ですかー？？って感じでした。Hibachi もそうですが日本のものが日本のものと知られていないのも寂しいけれど、日本人の知らないものが日本のものだと思われているのはちょっと悲しいです。写真のサッポロ一番は、パッケージは日本とほぼ同じなのに、ちょっと味が違うように感じました。

調味料も日本のものをたくさん見つけることができます。醤油やみりんはもちろん、みそもあります。キューピーマヨネーズもよく見かけます。

有名な話ではありますが、こちらでの sushi は日本のものとは全く異なります。日本で定番の握りではなくロールがアメリカでの主流です。握りもあるにはあるのですが、ロールよりもはるかに値段が高いですピンポン玉くらいの大きさの小さいロールに様々なソースがかかっています。照り焼きのような甘いソースやオレンジ色のクリーミーで辛いソースなどがあります。私のホストファミリーは冷蔵庫に sushi soy sauce を常備しているのですが、このソースも日本のしょうゆとは異なり甘くてドロツとしています。お店で食べる寿司にはさらにユニークなものもあります。なんとロール状の寿司がてんぶらの衣をまとって丸ごと揚げられているのです。見た目は強烈ですが、これが天むすみたい感じで意外とおいしいです。ぜひ試してみてください。先日、コストコで巨大な生サーモンを買って sushi party をしました。みんなでおいしく食べました。

・ Japanese store に行ってみた

私の家から 1 時間ほど離れたところに日本人が多く住む地域があり、そこに行くと日本に関連したものや日本人が経営しているお店などがたくさんあります。

先日、ほぼ日本のもののみを扱う Japanese store に行ってみました。ここでは、値段こそ高いものの、思いつく限りほぼすべてのものを手に入れることができます。想像以上に品揃えがよくて驚きました。以下、写真をたくさん撮ったので載せます。値札が英語表記なことを除けば、日本と全く同じ光景が広がっています。





これら写真のほかにもスキンケア用品や贈答用の箱に入ったお菓子、10キロのコシヒカリなど本当に何でもありました。ただ、仕方ないことではあるけれど、お値段が高いのが残念なところ。平均して少なくとも2倍、ものによっては4倍近くするものもありました。

3 日本人コミュニティ

クロスカントリーで中学生の大会の運営を手伝っていた時、アメリカに来てから初めて日本人の方に出会いました。私が住んでいるのは、日本人どころかアジア人も少ない地域なのでびっくりです。コーチに後押しされて、ある日本人家族の方と少しお話しすることができました。前述した日本食品スーパーもこの方々に教えていただいたものです。

話をしながら、日本人コミュニティでの暮らしやアメリカと日本での働き方の違い、駐在員の家族として生きていくことについてなど、当事者にしかわからないことをいろいろと伺うことができました。これまでこういったバックグラウンドをもつ人と話すことはなかったので、刺激的で良い機会になりました。

私が住んでいる町はとても静かで何をするにも車が必要です。家族や日本の友達もいないし、日本語で悩みを聞いてくれる人もいないし、なんだか寂しいなと感じていましたが、日本人の方とお話を通して、少し見方が変わりました。自分で車を運転できて、住んでいるのは異国でも近所には日本のものを購入できる場所があって、家ではあったかい日本食を食べながら家族と夜を過ごせたら。それはそれで別の楽しい生活が送れそうですね。「行って自分の目で見てみないと分からないことがある」というのはよく聞きますが、「自分の目で見ていたとしても、それがどういう状況なのか、周りに誰がいるのかで見え方は大きく変わってくる」と感じました。

思いもしていなかった、ミシガン州での日本人との出会いでたくさんことを学び、色々と考えさせられました。

終わりに

最後まで読んでくださりありがとうございました。アメリカに来て、別の視点から日本を見ることができました。写真で伝わったかと思いますが、アメリカでもお金さえ払えば日本のものは結構何でも手に入ります。でもやっぱり私は日本が恋しいな。